

# 東村エコツーリズム推進全体構想の概要

## 1. 背景及び目的

東村は、国内でも比較的早い時期からエコツーリズムに関する取組を積極的に推進してきた地域の一つで、沖縄県の「やんばる」と呼ばれる沖縄島北部に位置しています。脊梁山地に広がる亜熱帯照葉樹林を源とする大小さまざまな河川が東海岸に向けて流れ、海岸には「慶佐次湾のヒルギ林」を代表とするマングローブ群落や砂浜、段丘崖などの自然海岸がみられるとともに、沖にはサンゴ礁が広がっています。また、沖縄島北部の森林地域「やんばるの森」には、ここにしかいない多種多様な生きものが生息・生育しており、平成28年9月に「やんばる国立公園」に指定され、さらに令和3年7月には「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」として世界自然遺産となりました。

このような自然環境を背景に、今後も、エコツーリズムの先進地として取組を推進し、保全と利用の調和のとれた地域振興を図るとともに、東村の優れた自然観光資源を後世へ継承していくため「東村エコツーリズム推進全体構想」を作成します。

### <エコツーリズム推進の基本的な方針>

- 基本的な方針① 世界に誇る自然環境を活かした希少価値の高い自然体験を提供！
- 基本的な方針② 自然体験観光の旅行目的地となるためのブランディング
- 基本的な方針③ 自然環境の保全を前提としたフィールドの利用
- 基本的な方針④ 世界自然遺産に相応しいエコツーリズムの推進
- 基本的な方針⑤ 地域経済の振興へ貢献
- 基本的な方針⑥ 地域社会への配慮及び地域の持続的発展

## 2. 概要

### (1) 東村エコツーリズム推進全体構想を推進する地域

東村全域及び周辺海域（北部訓練場を除く）

### (2) 対象となる主な自然観光資源

動植物及びその生息地・生育地	・世界でやんばる地域にのみ生息・生育する固有動植物 （ノグチゲラやヤンバルクイナ、オキナワイシカワガエル、オキナワセッコクなど） ・亜熱帯照葉樹林や雲霧林、溪流帯の植生及びそこに生息・生育する生きもの ・沖縄島最大規模の広がりのある慶佐次のマングローブ など
風俗慣習、伝統的な生活文化に係るもの	有銘馬道、有銘大綱引き、川田の国頭サバクイ、共同売店、豊年祭、海神祭、エイサー

### (3) 東村エコツーリズム推進全体構想の実施方法

基本的な方針に基づき、エコツアー事業者や行政などの地域関係者が一丸となって、エコツアーガイドによる案内・解説や、ルールへの運用、モニタリング及び評価、情報提供、ガイドなどの育成・研鑽等を行い、エコツーリズムを推進していきます。

#### (4) 東村エコツーリズム推進全体構想の推進体制

東村エコツーリズム推進協議会

東村（企画観光課、建設環境課）、東村教育委員会、NPO 法人東村観光推進協議会、東村区長会、東村商工会、環境省（沖縄奄美自然環境事務所）、林野庁（沖縄森林管理署）、沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所、沖縄県（自然保護課） など

### 3. 主なエコツアーと活動写真



マングローブカヤックツアー

沖縄島最大規模を誇る慶佐次のマングローブでは、カヤックで自然を楽しむマングローブカヤック体験や、遊歩道を歩きながら自然観察を行うプログラムが提供されています。ガイドの解説を通して、沖縄本島最大級のマングローブの壮大な景色を感じながら、ヒルギ林やそこに生息する多様な生きものを間近で観察することができます。



やんばるの森の秘境ツアー「森トレッキング」

世界自然遺産となった亜熱帯照葉樹林「やんばるの森」をフィールドとしたエコツアーが実施されています。やんばるの森に面した福上湖(福地ダム)では、やんばるの自然や人々の暮らしを学ぶ自然観察船のクルーズツアーやカヤックツアー、さらにはダム湖の先にあるガイドツアーでしか訪れることのできない秘境を探検するトレッキングツアーも開催されています。インタープリテーション技術に優れたガイドが案内することで、「奇跡の森」と称されるやんばる世界自然遺産の魅力を存分に楽しむことができます。



保全体験型ナイトツアー

夜にしか出会えない生き物や風景を楽しむナイトプログラムです。夜のやんばるの森を探検しながら、大合唱するカエルたちやオキナワイボイモリ、ホタルなど、夜行性の生き物を観察できます。また、真っ暗なマングローブの中をカヤックで進み、夜の生き物について学びながら星空を眺める体験もでき、昼間とは異なる雰囲気やんばるを満喫できます。さらに、やんばるの希少種を守るため、2011年から行われている「林道パトロール」を体験する保全体験型のナイトツアーも実施されています。